



自由と個人の尊厳・思索と己の完成



岐阜県の魅力を体験

9月7日（水）ぎふふるさと魅力体験事業の一環で、1年生が校外研修に出かけました。午前中は、文系志望者が「関ヶ原古戦場記念館」理系志望者が「かかみがはら航空宇宙博物館」へ、午後は、全員で「アクア・トトぎふ」へ行きました。生徒にとって、自分の進路を考えるきっかけになったり、岐阜県の魅力を改めて感じたり、仲間と楽しいひとときを過ごしたりすることができました。



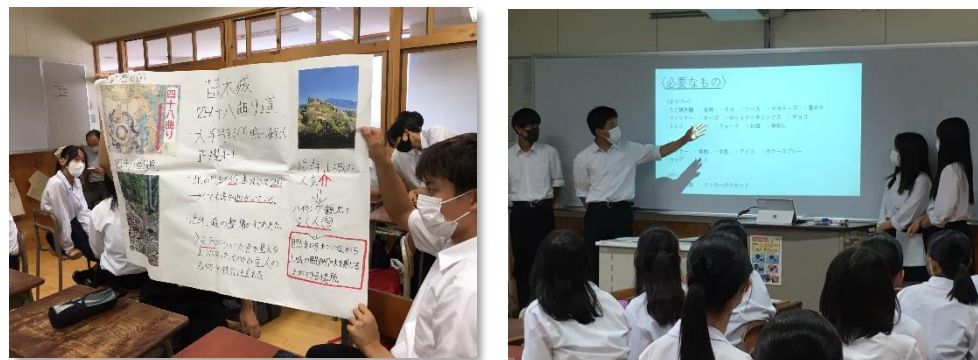
かかみがはら航空宇宙博物館での様子



左:関ヶ原古戦場記念館 右:アクア・トトぎふの様子

中津高生が考えるSDGs

8月、9月の1, 2年生の総合的な探究の時間に、地域で活躍する社会人(ゲストティーチャー)12名の方々に3日間来校いただき、SDGsと関連付けながら、地域の課題について解決策を一緒に探る取組みを行いました。具体的にはゲストティーチャーの活動紹介やゼミ形式での話し合い、プレゼン発表などを行いました。この取組みを通して、地域課題に関心を持てたことは言うまでもなく、社会人の方や先輩後輩と共に学ぶという貴重な経験にもなりました。



自習の大切さを再確認

9月13日（火）7限に、「私たちはどう学び、どう生きていくべきか」と題して、元灘中学校・高等学校教諭の木村達哉氏をお招きして1, 2年生合同の講演会を行いました。学ぶことや生きることの本質的な部分について話していただきました。また、人は忘れる生き物であり、それを防ぐためにも「自習」が大切であり、分からないことは「質問」することが効果的であると具体的な話もしていただきました。本校でもここ数年、生徒に対し、自分にとって効果的な学習を取り入れた自宅学習を増やしていくよう働きかけています。この講演会を機会に、再度、自宅学習のあり方を見つめ直してみましょう。



生徒代表でお礼のあいさつをする生徒会執行部の伊藤晴貴君



大学の出前講座で進路研究

9月22日（木）7限に、1, 2年生合同の大学の出前講座を行いました。岐阜大学や信州大学、愛知県立大学、岐阜聖徳学園大学など16大学の16分野の講座の中から、生徒が希望する講座を選択して受講しました。普段聞くことのできない内容に知的好奇心が刺激されて、進路意識が高まったのではないのでしょうか。



左:工学(機械) 右:芸術 右上:教育学の様子